

循環型社会の実現に向けた決意を表明。 日本シーム株式会社 コーポレートロゴをリニューアル



廃プラスチックの再資源化技術を培ってきた日本シーム株式会社（本社：埼玉県川口市、代表：木口 達也）は、循環型社会の実現に向けた企業姿勢を明確に示すため、コーポレートロゴをリニューアルしました。

気候変動や資源枯渇、廃プラスチック問題が深刻化するなか、当社は「マシンテクノロジーで地球を豊かにする」という理念を掲げ、培ってきた廃プラスチック再資源化技術を通じて、持続可能な社会の実現に挑み続けています。今回のロゴ刷新は、単なるデザイン変更ではなく、「社会課題解決に挑み続ける企業の決意」を示すものです。

■ 新ロゴに込めた思い

今回のリニューアルは、当社の存在理念「マシンテクノロジーで地球を豊かにする」を、より直感的に伝えるために実施しました。

1977 年の創業以来、『技術革新』と『挑戦の歴史』を積み重ねてきた日本シームは、廃プラスチック再資源化技術を活かし、循環型社会の実装に貢献してきました。

21 世紀も四半世紀が過ぎ、気候変動や資源の枯渇が世界的な危機となるなか、当社はその使命を改めて認識し、発信するべくロゴを刷新しました。新ロゴは「循環型社会の実現に向けた決意の象徴」として位置付けています。



日本シーム株式会社



NIHON CIM

■シンボルマーク

日本シームの機械にとって大切な、プラスチックを粉砕する「刃」と、日本シームが目指すサーキュラーエコノミー（循環型経済）の社会を表しました。

CIM の文字を通して廃プラスチックが再生・循環する様子、刃が回転し未来に向かって動き続ける姿は「技術による社会貢献」と「持続可能性」への挑戦を象徴しています。

未来に向かって絶えず循環し続けるエネルギーと、環境問題への取り組みの象徴でもあります。



■ロゴタイプ

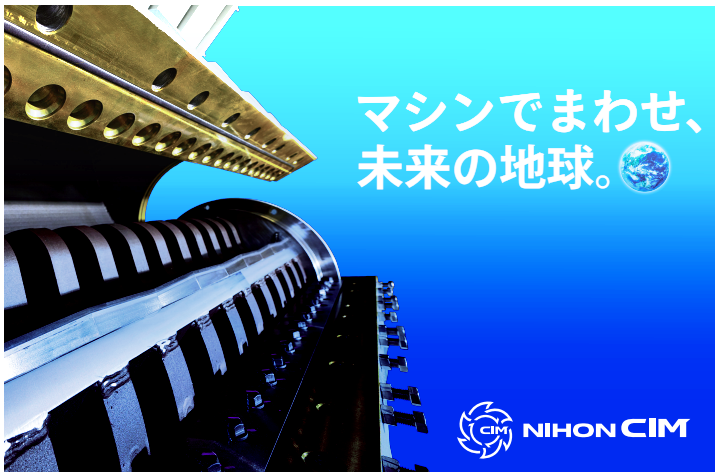
普遍的で洗練された書体に加え、シンボルマークにも取り入れた刃のイメージを「M」に置き、マシンの会社としての力強さを表現。紺色は、マシンの精度や信頼性を表しています。

NIHON CIM

■ 今後に向けて

新しいロゴは、今後製品や Web サイトに順次展開予定です。

日本シームはこの新たなシンボルのもと、環境課題の解決に向けた取り組みをさらに加速し、持続可能な未来をお客様・地域社会と共に築いてまいります。



【会社概要】

社名： 日本シーム株式会社

代表： 代表取締役/CEO 木口 達也

本社所在地： 埼玉県川口市安行北谷 665

URL： <https://www.nihon-cim.co.jp/>

設立年： 1979 年 5 月

資本金： 8,304 万円

従業員数： 70 人

事業内容： 粉碎機、洗浄脱水機、各種選別装置、乾燥機、ミキサー、搬送装置、切断機、プラスチック類リサイクルプラント施工、関連機械製造販売。